

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	63	学校名	関商工高等学校
------	----	-----	---------

学校教育目標 (教育方針)	<p>「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 充実した教科指導の徹底により、地域産業界から必要とされる人材の育成 2 基本的な生活態度の育成により、地域から愛される人材の育成 3 活発な部活動の推進により、地域から期待される活力ある人材の育成 	
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着を図るとともに、専門知識・技術の習得および各種資格取得を目指し、生涯をとおして自己実現を図ることができる生徒 ・社会性を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる生徒 ・人間関係の形成や社会ルールなどを日常生活や様々な活動から学び、他者と互いの人格を尊重し合い、豊かな人生を送る姿勢をもつ生徒
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着を目指した教科指導の徹底と、専門性の高い実習および外部との連携による探究的な学びの推進 ・高校生活のあらゆる場面において「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」等の指導による社会性、および豊かなコミュニケーション能力の育成 ・目標を持ち、切磋琢磨する生徒や、自己実現を目指す生徒に対する共感的理解を持って、粘り強く行う支援の実施
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・目標や向上心を持ち、強い意欲をもって学習と部活動の両立を目指し、日々努力を重ねることができる生徒 ・誠実で主体的な人間性と豊かなコミュニケーション能力を持ち、地域社会で活躍することを目指す生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・商業工業ともに、定員が充たされるだけの入学者を確保できていない。将来生徒数が減少することも含めた存続に関わり、安定した生徒数の確保が必要。 ・不登校傾向のある生徒へのサポートを十分に行えていない。毎年年度途中での転退学者、年度末の補充等が必要な生徒が出ている。 ・大学への進学を志す生徒で、本校で実施した探究学習の実績を元にして総合型選抜で合格する生徒がいない。 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学習指導	基礎学力の定着を図るとともに、専門知識・技術を習得し、各種資格取得を目指します。
	進路指導	主体的に進路を選択決定できる能力や態度を身に付けます。
	生徒指導	「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」等、自立性、社会性を身に付けます。
特別活動	部活動に積極的に取り組みます。	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興基本計画 での位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	タブレット等のICT機器の利活用により、主体的・対話的で深い学びの実現を図ります。	9	施策Ⅱ-9	学校評価アンケート(90%以上の肯定的評価)			
	授業や朝学習(R-time)を通して、基礎学力の定着を図ります。	8	施策Ⅱ-8	基礎力診断テスト等の実施による定着度の分析			
	資格取得に向けて、計画的な支援を行います。	14	施策Ⅱ-14	検定取得者数、受賞者数(前年比増を目指す)			
	定期的に公開授業および研究授業を実施し、授業力を向上します。	26	施策Ⅳ-26	生徒アンケート(90%以上の肯定的評価)			
進路指導	地元企業等との連携によるインターンシップ等を通して、地域産業への理解を深められるよう支援します。	4	施策Ⅰ-4	進路決定率(100%を目指す)			
	学年・教科と連携し進路選択のための情報提供やガイダンスを通して進路実現に必要な知識・技術の習得を支援します。	10	施策Ⅱ-10	学校評価アンケート(90%以上の肯定的評価)			
	企業見学、先輩と語る会、進路講話等を実施し、キャリア教育の充実に努めます。	13	施策Ⅱ-13	学校評価アンケート(90%以上の肯定的評価)			
	課題研究・探究学習を生かした進路指導体制を充実し、総合型選抜による進学希望者の進路実現を図る。	26	施策Ⅳ-26	総合型選抜入試合格者数(前年比増を目指す)			
生徒指導	あらゆる場面で「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」の大切さを共有し、基本的生活習慣を身に付けさせます。	2	施策Ⅰ-2	学校評価アンケート(80%以上の肯定的評価)			
	様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、集団の中でよりよい人間関係を形成しようとする態度を育成します。	1	施策Ⅰ-1	学校評価アンケート(80%以上の肯定的評価)			
	いじめ迷惑調査を実施し、いじめ問題の早期対応、早期解決に努めます。	3	施策Ⅰ-3	いじめ迷惑調査による分析			
特別活動	部活動への自主的・自発的な参加を促し、協調性、責任感、連帯感等を育成します。	20	施策Ⅳ-20	学校評価アンケート(80%以上の肯定的評価)			
	体力や技能の向上を図り、各種競技大会等で高い到達目標を掲げ活発に活動します。	24	施策Ⅳ-24	大会記録・結果(全国大会出場数前年比増を目指す)			
	部活動たよりの発行、SNSによる情報提供により各部の活動を積極的に広報し、学校全体で部活動の活性化を図ります。	25	施策Ⅳ-25	学校評価アンケート(80%以上の肯定的評価)			
	活動場所や用具の点検、熱中症予防や救急法に関する講習会を実施し、安心・安全に活動できる環境を整備します。	19	施策Ⅲ-19	部活動に関わる重大事故件数(0件を目指す)			

来年度に向けての改善方策等

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日